

令和4年度

第1回

「SAGA コラボレーション・スクール」
学校運営協議会（学校魅力強化委員会）

<学校説明資料>



令和4年6月20日（月）

佐賀県立唐津西高等学校

令和4年度第1回「SAGA コラボレーション・スクール」
学校運営協議会（学校魅力強化委員会）会議

1 日 時 令和4年6月20日（月）15:00～16:30

2 場 所 本校 応接室

3 出席者 <学校運営協議会（学校魅力強化委員会）委員>

川島 雄輔 様	松尾・川島法律事務所 弁護士
濱道 正和 様	振興会会長
早川 加恵 様	キャリアコンサルタント
外尾 敏枝 様	日浦屋 女将
松田 毅 様	佐賀新聞社 唐津支社長
山田 健一郎 様	佐賀未来創造基金 代表理事

<校内委員>

下村 昌弘	学校長
藤田 和康	教頭
池田 憲一	教務主任
山口 崇	学校運営協議会担当

<アドバイザー>

門脇 亨平 様	佐賀県高校魅力化アドバイザー
大島 恒平 様	佐賀県 教育庁 教育振興課 企画主査

4 会順

- (1) 学校長挨拶
- (2) 出席者紹介
- (3) 議題

① 学校の運営方針について

- ・学校の概要及び運営方針
- ・今年度の各校務分掌、各学年の取組・目標、高校総体結果等
- ・令和4年度学校評価計画について

② 「SAGA コラボレーション・スクール」（学校魅力強化委員会）について

③ 普通科としての唐津西高校の魅力について（熟議）

- (4) その他 今後の予定

令和4年度 年間行事予定

月	曜日	4月	月	曜日	5月	月	曜日	6月	月	
1	金	職員会議		1	日		1	水	進学相談会(放課後)シーサイドホテル	
2	土			2	月	開校記念式典		2	木	内科健診⑤⑥(1年2クラス) 進路講演会(2年)
3	日			3	火	憲法記念日		3	金	内科健診⑤⑥(1年2クラス) 第1回英語検定(一次)
4	月			4	水	みどりの日		4	土	チャレンジセミナー(全学年)
5	火	スタディサポート分析会(13:30~30分×3学年) スクールカウンセラー担当者説明会(1年1組教室)		5	木	こどもの日		5	日	第1回看護医療模試(3年)
6	水	新任式、始業式 身体測定(2、3年)	1	6	金			6	月	進路講演会③④(3年) 3年放課後特課開始
7	木	課題テスト	2	7	土	チャレンジセミナー(全学年)		7	火	歯科検診(3年生)午前中 キャリア教育(2年)
8	金	入学式	1	8	日	佐賀北通信Ⅱ		8	水	
9	土		1	9	月			9	木	内科健診⑤⑥(2年2クラス)
10	日	数学検定 KPP(缸ノ松原クリーン大作戦)	1	10	火	結核検診(1年生・対象職員、午前中)		10	金	公務員講座(3年生) 内科健診⑤⑥(2年2クラス)
11	月	学力診断テスト(1年) 面談週間(45分×6限) 1年オリエンテーション キャリア教育(1、2年)	2	11	水	代休(5月14日分)		11	土	進研共通テスト模試(3年)
12	火		3	12	木			12	日	佐賀北通信Ⅰ 第74回佐賀県高等学校図書大会
13	水	1年身だしなみ指導	4	13	金			13	月	眼科健診⑤⑥(3年・1年2クラス)
14	木	原検査(1次)	5	14	土	双松祭(体育の部)		14	火	歯科検診(1年生)午後 会計事務指導検査(10:00~15:00) ハナコフェア(10:00~12:00)比田井和孝氏 進路ガイダンス(午後) 水質検査
15	金	1年生個人写真撮影(AM) 1年生身体測定 チャレンジセミナー(全学年)	6	15	日	佐賀北通信Ⅰ		15	水	
16	土	全九州バレーボール選手権県予選会	7	16	月			16	木	歯科検診(2年生)午前中
17	日		8	17	火			17	金	公務員講座(3年生)
18	月		9	18	水	1学期中間考査 朝の挨拶運動		18	土	チャレンジセミナー(全学年) 全九州高校総体(ボート・佐賀)
19	火		10	19	木	1学期中間考査 朝の挨拶運動 職員研修(教育相談)		19	日	佐賀北通信Ⅱ KPP(缸ノ松原クリーン大作戦) 第1回煙草・毛筆書写技能検定
20	水		11	20	金	1学期中間考査 照度検査		20	月	第1回学校運営協議会
21	木		12	21	土			21	火	
22	金	職員会議 第1回振興会役員会	1	22	日	佐賀北通信Ⅱ		22	水	
23	土		2	23	月	振替休日(5月14日分)		23	木	1学期期末考査
24	日	佐賀北通信Ⅰ 令和4年度佐賀県バドミントン春期大会	3	24	火	耳鼻科健診⑤⑥(1年) 築肥線メンテナンス運休(10:00~15:00)		24	金	1学期期末考査
25	月		4	25	水	心臓検診(1年)午前中 活性化委員会⑥		25	土	
26	火	尿検査(2次)	5	26	木			26	日	
27	水		6	27	金	県高校総体		27	月	1学期期末考査
28	木		7	28	土	県高校総体 KARATSU SEASIDE CAMP(波戸岬)		28	火	1学期期末考査
29	金	昭和の日	8	29	日	県高校総体		29	水	
30	土	東西松浦高校生バレーボール大会(本校会場) 北部地区高等学校春季卓球大会	9	30	月			30	木	主権者教育(全学年) 内科健診⑤⑥(3年生・2クラス)
31	日		10	31	火	眼科健診⑤⑥(2年・1年2クラス)		31	金	
備考		1年 15 2年 16 3年 16	備考			★は企画運営委員会 1年 18 2年 18 3年 18				★は企画運営委員会 1年 22 2年 22 3年 22

令和4年度 年間行事予定

月	曜日	7 月			8 月			9 月			
		日	月	日	日	月	日	日	月	日	
1	金	公務員講座(3年生) 内科検診⑤⑥(3年生2クラス) 佐賀県内専修学校ガイダンス(3年生希望者) 進研記述模試(全学年)	56 57 57	1	月	スタディサポート(1・2年) 夏季特課(3年)	66 69 69	1	木		72 73 80
2	土		56 57 57	2	火	体験入学	68 69 69	2	金	双松祭(文化祭)	73 74 81
3	日	進研記述模試(3年) 第1回英語検定(二次) 佐賀北通信 I	56 57 57	3	水	3年学習会	68 69 69	3	土		73 74 81
4	月	耳鼻科検診⑤⑥(2・3年生有所見者)	57 58 58	4	木		68 69 69	4	日	佐賀北通信 I	73 74 81
5	火	3年理系進路検討会⑥⑦放課後	58 59 59	5	金	佐賀県人権・同和教育研究大会	68 69 69	5	月	面談週間	74 75 82
6	水		59 60 60	6	土	学校閉庁日	68 69 69	6	火	面談週間	75 76 83
7	木	性に関する講演会	60 61 61	7	日		68 69 69	7	水	面談週間	76 77 84
8	金	公務員講座(3年生) 3年文系進路検討会⑥放課後	61 62 62	8	月		68 69 69	8	木	面談週間	77 78 85
9	土		61 62 62	9	火		68 69 69	9	金	面談週間	78 79 86
10	日	計画・高校生活・進路	61 62 62	10	水		68 69 69	10	土	ベネッセ・駿台共通テスト模試(3年)	78 79 85
11	月		62 63 63	11	木	山の日	68 69 69	11	日	佐賀北通信 II KPP(虹ノ松原クリーン大作戦)	78 79 86
12	火	三者面談	63 64 64	12	金		68 69 69	12	月		79 80 87
13	水	三者面談	64 65 65	13	土		68 69 69	13	火		80 81 88
14	木	三者面談	65 66 66	14	日		68 69 69	14	水		81 82 89
15	金	三者面談	66 67 67	15	月		68 69 69	15	木	第2回推薦会議 学校保健委員会⑤	82 83 90
16	土	チャレンジセミナー(全学年) 3年看護系小論文合同学習会(致遠館高校)	66 67 67	16	火	年休取得推進日 第46回佐賀県高校音楽コンクール(木管・金管)	68 69 69	16	金		83 84 91
17	日	佐賀北通信 II	66 67 67	17	水	年休取得推進日 (打楽器・弦楽器・声楽部門)	68 69 69	17	土	チャレンジセミナー(全学年)	83 84 91
18	月	海の日 第20回佐賀県高等学校書道生徒研修会	66 67 67	18	木	夏季特課(3年授業日) (ピアノ部閉)	68 69 70	18	日	第2回看護医療模試(3年)	83 84 91
19	火	三者面談	67 68 68	19	金	就職推薦会議	68 69 71	19	月	敬老の日	83 84 91
20	水	1学期終業式	68 69 69	20	土		68 69 71	20	火	第2回学校運営協議会	84 85 92
21	木	夏季特課	68 69 69	21	日	KPP(虹ノ松原クリーン大作戦)	68 69 71	21	水		85 86 93
22	金	佐賀県吹奏楽大会Aパート	68 69 69	22	月	夏季特課(3年授業日)	68 69 72	22	木		86 87 94
23	土		68 69 69	23	火		68 69 73	23	金	秋分の日	86 87 94
24	日		68 69 69	24	水		68 69 74	24	土		86 87 94
25	月	夏季特課 マイナビライブ(2年)	68 69 69	25	木		68 69 75	25	日		86 87 94
26	火		68 69 69	26	金		68 69 76	26	月		87 88 95
27	水		68 69 69	27	土	県下一斉模試(全学年)	68 69 76	27	火		88 89 96
28	木		68 69 69	28	日	県下一斉模試(3年)	68 69 76	28	水		88 89 96
29	金	スタディサポート(1・2年)	68 69 69	29	月	2学期始業式	68 69 77	29	木	第3回推薦会議	89 91 98
30	土	全統共通テスト模試(3年)	68 69 69	30	火		68 69 78	30	金		91 92 99
31	日	KPP(虹ノ松原クリーン大作戦)	68 69 69	31	水	第1回推薦会議	71 72 79				
備考		★は企画運営委員会 1年 13 2年 13 3年 13	備考			★は企画運営委員会 1年 3 2年 3 3年 10	備考			★は企画運営委員会 1年 20 2年 20 3年 20	

令和4年度 年間行事予定

月	日	曜日	10月	月	日	曜日	11月	月	日	曜日	12月
1	土			91	1	火	第34回佐賀県高等学校総合文化祭書道展	112	1	木	
				92				113			
				99				120			
2	日			91	2	水		112	2	金	
				92				113			
				99				120			
3	月			92	3	木	文化の日 第33回県総文祭連合音楽会(ソロ・アンサンブル・合唱部門)	112	3	土	チャレンジセミナー(1・2年)、3年学習会
				93				113			
				100				120			
4	火			93	4	金	振替休日(11月12日分)	113	4	日	佐賀北通信 I
				94				114			
				101				121			
5	水			94	5	土		113	5	月	
				95				114			
				102				121			
6	木			95	6	日	第2回英語検定(二次) 佐賀北通信 I 第34回県総文祭連合音楽会(吹奏楽部門)	113	6	火	
				96				114			
				103				121			
7	金		第2回英語検定(一次)	96	7	月		114	7	水	
				97				115			
				104				122			
8	土		ベネッセ・駿台記述模試(3年)	98	8	火		115	8	木	吹奏楽部加唐島訪問演奏
				97				116			
				104				123			
9	日		佐賀北通信 I	98	9	水		116	9	金	3年進路検討会(午後) 第6回全九州高等学校総合文化祭佐賀大会
				97				117			
				104				124			
10	月		スポーツの日	96	10	木		117	10	土	
				97				118			
				104				125			
11	火		2学期中間考査(3年)	97	11	金		118	11	日	佐賀北通信 II
				98				119			
				105				126			
12	水		2学期中間考査(全学年)	98	12	土	学校開放日・秋の体験入学	119	12	月	
				99				120			
				106				127			
13	木			99	13	日	第2回硬筆・毛筆書写技能検定 佐賀北通信 II	119	13	火	
				100				120			
				107				127			
14	金			100	14	月		120	14	水	
				101				121			
				108				128			
15	土		全統記述模試(3年)	100	15	火		121	15	木	進路内定者集会
				101				122			
				108				129			
16	日		西南・福大プレ(3年) 佐賀北通信 II	100	16	水		122	16	金	三者面談 進路内定者集会
				101				123			
				108				130			
17	月			101	17	木		123	17	土	チャレンジセミナー(1・2年)3年学習会
				102				124			
				109				131			
18	火		1年生キャリア教育講演会(5限~7限)	102	18	金		124	18	日	
				103				125			
				110				132			
19	水			103	19	土	チャレンジセミナー(1・2年)、3年学習会	123	19	月	三者面談
				104				124			
				111				131			
20	木		防災・避難訓練(全学年) 進路講演会(3年)	104	20	日		123	20	火	三者面談
				105				124			
				112				131			
21	金		佐賀県人権・同和教育研究大会	105	21	月		124	21	水	三者面談
				106				125			
				113				132			
22	土		大学別模試(3年)	105	22	火		125	22	木	三者面談
				106				126			
				113				133			
23	日		大学別模試(3年)	105	23	水	勤労感謝の日	125	23	金	2学期終業式
				106				126			
				113				133			
24	月			106	24	木	2学期期末考査	126	24	土	北予備ファイナル(3年)
				107				127			
				114				134			
25	火			107	25	金	2学期期末考査	127	25	日	第45回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテス
				108				128			
				115				135			
26	水		芸術鑑賞(ゴスペル)	108	26	土	全統プレ共通テスト(3年)	127	26	月	冬季特課
				109				128			
				116				135			
27	木			109	27	日		127	27	火	
				110				128			
				117				135			
28	金			110	28	月	2学期期末考査	128	28	水	
				111				129			
				118				136			
29	土		県下一斉模試(3年) 進研記述模試(1・2年)	110	29	火	2学期期末考査	129	29	木	
				111				130			
				118				137			
30	日		県下一斉模試(3年) 進研記述模試(2年)	110	30	水		130	30	金	
				111				131			
				118				138			
31	月			111					31	土	
				112							
				119							
備考			★は企画運営委員会				★は企画運営委員会				★は企画運営委員会
			1年	20	備考		1年	19			1年
			2年	20			2年	19	備考		2年
			3年	20			3年	19			3年

令和4年度 年間行事予定

月日	曜日	1月	月日	曜日	2月	月日	曜日	3月	月日		
1	日	元旦	147 148 155	1	水	特別選抜出願1日目	184 185 173	1	水	卒業式 一般選抜志願変更届	182 183 181
2	月		147 148 155	2	木	特別選抜出願2日目	185 186 174	2	木		183 184 181
3	火		147 148 155	3	金	職員会議(卒業認定)	186 187 175	3	金	職員会議(進級判定)	184 185 181
4	水		147 148 155	4	土	チャレンジセミナー(1,2年)	186 187 175	4	土	3年学習会	184 185 181
5	木	冬季特課	147 148 155	5	日	佐賀北通信Ⅱ	186 187 175	5	日		184 185 181
6	金		147 148 155	6	月		187 188 176	6	月		185 186 181
7	土	県下一斉模試(1・2年) 直前模試(3年)	147 148 155	7	火		187 188 176	7	火	一般選抜	185 186 181
8	日	県下一斉模試(2年) 直前模試(3年) 佐賀北通信Ⅰ	147 148 155	8	水	特別選抜	188 189 177	8	水	一般選抜	185 186 181
9	月	成人の日	147 148 155	9	木		189 170 178	9	木		188 187 181
10	火	3学期始業式	148 149 156	10	金	3年最終登校日	170 171 179	10	金		187 186 181
11	水		149 150 157	11	土	建国記念の日	170 171 179	11	土		187 188 181
12	木		150 151 158	12	日		170 171 179	12	日		187 188 181
13	金	公務員模試(2年希望者)	151 152 159	13	月		171 172 179	13	月	スタディサポート(1・2年)	188 189 181
14	土	大学入学共通テスト 進研記述模試(1・2年)	151 152 159	14	火		172 173 179	14	火	一般選抜合格発表	188 190 181
15	日	大学入学共通テスト 進研記述模試(2年) 佐賀北通信Ⅱ	151 152 159	15	水	特別選抜合格発表	173 174 179	15	水		190 191 181
16	月	共通テスト自己採点(3年)	152 153 160	16	木	学年末考査	174 175 179	16	木	救急講習(心肺蘇生法・AED)(1年・職員)	191 192 181
17	火		153 154 161	17	金	学年末考査	175 176 179	17	金	公務員模試	192 193 181
18	水		154 155 162	18	土	3年学習会	175 178 179	18	土		192 193 181
19	木		155 156 163	19	日	第3回英語検定(二次)	175 176 179	19	日		192 193 181
20	金	最終進路検討会(3年) 第3回英語検定(一次) 進路講演会AM(3年)	156 157 164	20	月	学年末考査 一般選抜出願1日目 第3回学校運営協議会	176 177 179	20	月		193 194 181
21	土		156 157 164	21	火	学年末考査 一般選抜出願2日目	177 178 179	21	火	春分の日	193 194 181
22	日		156 157 164	22	水		178 179 179	22	水		194 195 181
23	月	修学旅行(2年)	157 158 165	23	木	天皇誕生日	178 179 179	23	木		195 196 181
24	火		158 159 166	24	金	公務員模試	178 180 179	24	金	修了式	196 197 181
25	水		159 160 167	25	土		179 180 179	25	土		
26	木		160 161 168	26	日		179 180 179	26	日		
27	金		161 162 169	27	月	一般選抜志願変更願(1日目)	180 181 179	27	月		
28	土		161 162 169	28	火	一般選抜志願変更願(2日目)	181 182 180	28	火		
29	日	第3回硬筆・毛筆書写技能検定 佐賀北通信Ⅰ	161 162 169					29	水		
30	月		162 163 170					30	木		
31	火		163 164 171					31	金		
備考		★は企画運営委員会	1年 16 2年 16 3年 16	備考		★は企画運営委員会	1年 18 2年 18 3年 9	備考		★は企画運営委員会	1年 15 2年 15 3年 1

令和4年度 教務部 年間方針

1. 重点目標

(1) 地域に信頼され選ばれる学校作り

- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を軸とした教育活動を実践する。
- ・広報活動の充実を図る
- ・高校入試での本校志願者を増加させる。

(2) スムーズな日々の学校運営

- ・感染症対策を取りながら、学校行事を運営する。
- ・学校行事を全職員で運営する。
- ・総合的な探究の時間の活動内容を整理し系統立てて実施する。

(3) 生徒の学習支援

- ・新学習指導要領への対応
- ・生活習慣と学習習慣の確立。
- ・図書館活動の充実と図書貸出冊数の増加。

2. 重点目標達成のための方策

(1) 地域に信頼され選ばれる学校作り

- ・学校内外で地域に密着した教育活動を行い、地域とともにある学校を目指す。
- ・中学生の体験入学、学校説明会の内容や実施方法の工夫。
- ・学校ホームページ、SNSを有効活用し学校活動をタイムリーに発信する。
- ・ホームページの内容を充実させ、閲覧数を増加させる。
- ・探究の実施内容をSDGsに関連させ、総合的な探究の時間の充実を図る。

(2) スムーズな日々の学校運営

- ・先を見通した運営ができるように、行事予定や行事計画を早めに提示する。
- ・分掌、学年と連携し、学校行事を学校全体で運営する。
- ・業務を複数で担当することで、業務の平準化と次年度へ伝承。
- ・ICTの利活用による業務の効率化、および業務の共有。

(3) 生徒の学習支援

- ・すべての教科科目において授業実施率を法定時数の80%以上。
- ・新しい学習指導要領に基づく評価方法の検討および実施。
- ・教育課程、教務内規の検討と見直し（新課程、評価など）。
- ・出欠統計により欠席数、遅刻数の多い生徒を見つけ、早期対応につなげる。
- ・授業アンケート、研究授業会を実施し指導力向上を図る。
- ・唐津西高校のギガスクール構想を推進させる。
- ・図書館利用促進のためのイベントの実施、年間貸出冊数2000冊以上。

令和4年度 進路支援部 年間方針

1. 重点目標（数値目標）

- ① 地域社会の未来を担う志のある人材を育て、多様な進路選択を支援する。
- ② 3年生の多様な進路先の実現100%
- ③ 国公立大学合格者 30名以上、4年制私立大学合格者 100名以上
- ④ 大学進学希望者の割合をすべての学年で70%以上にする。

2. 重点目標達成のための方策

- (1) 部会等で定期的に情報交換を行い、学年団、校務分掌、教科と連携を図りながら、具体的な方策を進める。
- (2) 進路方針・進路情報を生徒・保護者に定期的に発信する。
「進路講演会」「進路便り」「進路のしおり」「進路情報誌」
- (3) 進学希望者（国公立大学、私立大学、短大、専門学校）と就職希望者（公務員、民間）の両方に対して、手厚く指導する体制を作る。
 - ・進路検討会や個別指導の充実
 - ・チャレンジセミナー、学習会、放課後・夏季・冬季特課の充実
 - ・公務員模試や公務員専門学校講師によるセミナー等の企画
 - ・違反質問等の把握、相談、報告
- (4) チャレンジセミナー、学習会、特課については、各学年と協議しながら実施方法や内容を検討し、効果的な運用を図る。
- (5) 全国の4年制大学や地元企業に目を向けさせ、早期に進路希望先を決定させる指導を行う。
 - ・進路講演会、大学訪問、オープンキャンパスや大学説明会への参加
 - ・大学、専門学校、企業との連携
 - ・丁寧な来客対応、情報収集と提示
- (6) 学校推薦型選抜と総合型選抜については、早期に第1回進路検討会、推薦会議を行い、個人の特性に合った進路先を検討し、全職員で指導に当たる。また、あり方についての検証を行い、持続可能な方策を立てる。
- (7) 1・2年生に対しては、総合的な探究の時間を活用し、学部学科研究や職業研究など、キャリア教育の充実を図ると共に基礎学力の定着を支援する。
 - ・Classi、スタディーサポートの活用
 - ・学び直し指導
 - ・外部講師やキャリアコンサルタントとの連携
- (8) 先生方の教科・小論文・面接の指導力向上をサポートする。
 - ・大学入試問題研究
 - ・外部の研修会への参加
 - ・予備校のオンライン研修
 - ・模擬試験のデータ分析
 - ・研修会の企画
- (9) 進路資料室と進路教室を充実させ、先生方と生徒の活用を促す。

令和4年度 生徒支援部 年間方針

生徒支援部の目標：自己指導能力の育成

目指す生徒像：『自立した生徒』『成長し続ける生徒』『応援される生徒』

1. 生徒支援部の重点目標

- (1) 『人間力』・『基礎力』の向上
 - ① 基本的な生活習慣を確立する
 - ② 規範意識やマナーの向上
 - ③ 責任ある行動がとれる自主的な集団を目指す
- (2) 『自走力』・『解決力』の強化
 - ④ 意欲的に学習できる環境を自らつくることができる
 - ⑤ 安心安全な環境を自らつくることができる
- (3) 地域、保護者、各校務分掌、学年との連携の強化
 - ⑥ 振興会と連携した生徒支援
 - ⑦ 学年、担任団との連絡を密に行う
- (4) 生徒会活動の活性化
 - ⑧ 生徒による生徒会行事の自主的な運営

2. 重点目標達成のための活動と行事計画

- ① 唐津西高校生としてふさわしい身だしなみ
 - ・定期的にみだしなみの確認を行う。また、生徒自ら身だしなみに配慮できるような指導を行う。
- ② 情報モラルの向上、SNSの適切な使用
 - ・他校や外部との連携でトラブル事例を示すなど、講演会や全校集会、HR等で注意喚起する。
- ③ いじめのない環境づくり、相談しやすい環境づくり
 - ・全職員・生徒がいじめの定義について理解し、いじめは許さない雰囲気づくりをする。
 - ・いじめアンケートを学期に1回実施する。
 - ・教育相談や外部機関と連携し、困っている生徒が相談しやすい環境をつくる。
- ④ 生徒の指導を行う場合は、「なぜいけないのか」理由を生徒に理解させ、「自走力」につながる指導を行う。ルールを守らせることが目的とならない指導を行う。
- ⑤ 交通安全意識の向上・交通事故の撲滅
 - ・自転車安全点検、街頭指導を実施する。交通講話等で注意喚起する。特に登校時に混雑する場所には生徒支援部で巡回し、事故が起きないように指導を行う。
- ⑥ 朝の挨拶・交通安全運動の実施
 - ・振興会と連携して朝の挨拶運動を5月・11月に実施する。
- ⑦ 学年や担任団と情報共有を密にし、問題行動があった場合はその日に対応する。必要がある場合は、学年等と連携し、全校集会・学年集会等を開いて指導を行う。
- ⑧ 生徒会役員を中心に生徒会行事やその他の活動等について、職員等の助言を受けながら学校を活性化すべく自分たちで企画・運営していく資質や能力を養う。

令和4年度 保健部 年間方針

1. 重点目標

◎心身の健康の保持増進について正しい知識と理解を深め、自己管理能力の向上を図る。

◎公衆衛生や安全管理についての理解を深め、進んで実践する能力や態度を養う。

2. 重点目標達成のための方策

(1) 日々の健康指導の充実

- ・年間を通じて欠席状況調査を実施し、生徒の体調の変化や心的変化の早期対応に努める。
- ・学習用PCを用いて生活習慣アンケートを実施し、生徒の生活習慣を把握し指導に活かす。

(2) 自己管理能力の向上

- ・保健だよりを毎月 Classi 及び学校 HP で配信したり掲示物を作成したりしてタイムリーな情報を伝えるとともに、生徒の体調及び体温についての記録を毎朝 Classi に入力させ、自己管理能力向上につなげる。
- ・定期健康診断の再受診率の向上(歯科3割、その他6割)を目指す。
- ・保健教育講演会・講習会の実施(性に関する講演会など)

(3) 安全管理の徹底

- ・年度当初に救急体制および緊急時の連絡体制について周知を行うとともに、迅速かつ適切な救急処置ができるよう、職員・生徒研修会の機会にAEDの取り扱いや緊急時の連携の取り方について確認する。
- ・消防署等の関係機関と連携し、防災避難訓練を行う(10月:地震・火災避難訓練)。
- ・毎月安全点検を行い、先生方からの報告を確実に取りまとめ、事務との連絡調整をして事後処置を徹底する。

(4) 感染症予防対策の徹底

- ・心身の健康保持増進に関する基本的な生活習慣や感染予防について、定期的・視覚的に注意喚起を行う。
- ・新型コロナウイルスの感染予防対策として、全校生徒のマスク着用率を100%にするとともに、手指消毒・教室換気・昼食時の黙食を徹底させる。
- ・生徒保健委員会の活動の充実を図り、保健委員・環境美化委員・ボランティア部と連携し、加湿・換気・校内の消毒等に取り組む。

(5) 環境衛生の維持管理徹底

- ・生徒会と連携して掃除の徹底を呼び掛け、掃除用具の管理や床の水拭きを定期的に行う。

(6) 教育相談・特別支援の充実

- ・様々な要因で教室に入れなかったり、不登校傾向にあったりする生徒の心に寄り添いながら、生徒一人一人に適した対応を行い、学校生活を整えられるように支援する。また、生徒情報共有シートの活用や学年情報会の実施など、担任・学年団と連携しながら多角的に生徒の状況を把握し、理解・支援する状況づくりに努める。欠席が累計20日に達した生徒については、関係職員でケース会議を開く。
- ・スクールカウンセラー(S.C)が月2回来校。生徒・保護者のカウンセリングや職員からの質問や面談にも対応していただく。
- ・身体的あるいは発達の特性を持つ生徒が、安心して安全に学校生活を送ることができるように環境を整える。

令和4年度 第1学年 年間方針

1. 第1学年団 生徒数 計144名 (男子81名 女子63名)

学年主任：久田 修 学年副主任：白石 千春

	1組 (K)	2組 (K)	3組 (K)	4組 (W)
担任	橋本 省吾	城戸香緒里	川久保有希	白石 千春
副担任	山口 崇	小島のぞみ	山口寿美代	一條 泰子
	濱田 英樹		田島 正義	
男子	21	22	20	18
女子	14	13	14	22
合計	35	35	34	40

2. 学年目標

1年次『自己を知り、自己を形成する』

2年次『世界を知り、世界と関わる』

3年次『自己を実現し、世界に羽ばたく』

1年次は、自己の興味や関心、適正について知り、文理選択や進路目標の見定めを行うとともに、「何をすべき」「どうすべき」「どのように行動すべき」かを考え高校生としての自己や高校生活サイクルの早期確立をはからせたい。

また、中学生生活のうち2年3ヶ月をマスクを付けて過ごしてきた生徒達であるため、学校生活の楽しさや協働することのでられる喜びなどをたくさん感じさせたい。

3. 指導目標と具体的方策

○基本的生活習慣の確立

・提出物の期限、時間を守る指導、時間を見て次の行動が判断できるようにする指導

授業開始時には教材を全てそろえて授業に向かう準備を整える指導

(正副担任による雰囲気作り 授業担当者による雰囲気作り)

・進んで明るい挨拶を行える指導 言葉遣いや教師の関わりを意気に感じる指導

(教師による率先垂範 周囲の先生によるフォロー)

○学習習慣の確立と基礎学力の習得

・主体的で対話的で深い学びを実践する授業の実践

(ペアワーク・アクティブラーニングを活用した、考えの異なる他者との対話による新たな知を創造する機会の設定)

(生徒達が調べたり考えたりした内容を活用・発揮する場の設定)

・毎日の家庭学習時間を確保する指導

家庭学習が定期考査・模擬試験の結果に繋がるような計画 「テストと課題の計画」配布

(課題一覧による課題量と質の調整 模試結果検討会による学力推移の確認)

・1月の県下一斉模擬試験で標準偏差値47.5 県順位1500番以内の数20人以上

(成績上位者および苦手としている生徒への放課後指導・個別指導の実施)

○進路意識の涵養

・生徒の興味、適性を掘り起こす指導

(業者アンケートの活用 校外活動への積極的な参加を促す)

・自己の進路に対し真剣に向き合う姿勢を培う指導

(探究の時間を活用した職業・学問調べ)

・進路目標を元とした文理選択を行わせる指導

(探究の時間の活用 定期的な面談の実施)

・SDGsや地域の課題について知らせると共に解決に向けどのような関わりが出来るか考えさせる指導

(地域の方を招いた講演会の実施 探究の時間を活用した地域活性化に関する学習の実施)

○生徒が輝ける高校生活の場の設定

・自己肯定感を高める機会の設定、互いが互いを認め合う関係の構築

(プレゼンテーションを行う機会や授業終末時のグループシェアの場を設け、相互評価活動を行わせる。) (リフレミングを通し、自他の良さを確認する場の設定。)

・協力して進めていく活動の計画、実践

(授業や探究活動で人と積極的に関わり、最適解を導き出すグループ学習の工夫。)

令和4年度 第2学年 年間方針

1. 第2学年団 計155名 (男子78名、女子77名)

学年主任：末松 真樹 学年副主任 吉川 真寿美

1組 (理系K)		2組 (理系W)		3組 (文系K)		4組 (文系W)	
正 脇山 貴史 (化学)		正 平藪 康 (数学)		正 片岡 美奈子 (書道)		正 樽崎 由紀子 (国語)	
副 牟田口 諒 (数学) 吉川 真寿美 (英語)		副 吉田 侑司 (体育)		副 木村 貴子 (国語)		副 吉川 真寿美 (英語)	
男子	25名	男子	22名	男子	14名	男子	17名
女子	14名	女子	18名	女子	22名	女子	23名
合計	39名	合計	40名	合計	36名	合計	40名

2. 学年目標

2年次・・・「ありたい自分に向かっていくための準備 ～1/10000の選択」

3. 指導目標と具体的方策

卒業時の目標

- ・自分の現在の進路に満足している生徒90%以上
- ・教員という観点、生涯のキャリアという観点で、キャリアが築けたと感じる担任100%

卒業時の目標を実現するための今年度の目標と具体的方策

●生活面

- ・Classiでの健康調査・学習時間調査を通じた基本的な生活習慣の確立
- ・集合時間に集合完了、授業はチャイムからチャイムまでなど時間を守る意識の確立
- ・学年団と各校務分掌とで連携したキャリア面談、家庭訪問の実施

●学習面

- ・月1回の課題一覧表の配信、朝10分の英語小テスト・ミニ小論文対策の実施による学習習慣の確立
(目標学習時間：Wクラス2時間、Kクラス90分、月1回思考型の課題提示)
- ・月曜放課後学習会(5月より)の実施、国語の個別課題設定による上位層の育成
(県模試1500番以内および進研記述GTZ B2以上40名以上)
- ・長期休暇明け課題未提出者学習会、成績不振者のグループ指導を通じた学習を諦めない雰囲気づくり
- ・実用英語技能検定2級合格5名、準2級40名

●進路面

- ・進路実現につながる諸活動への1人1回以上の参加
- ・国家資格キャリアコンサルタントの早川加恵氏と連携した年6回のキャリア教育の実施
- ・未来ギフト唐津、唐津市ふるさと会館アルピノと連携した総合的な探究の時間の実施
(アルピノに出品している企業・商品を紹介する動画作成⇒発表会・各種SNS等にアップ)
- ・進路ガイダンスや進学ライブ、進路講演会などの進路イベントの実施
(5月：本校卒業の東大生による講演、6月：ベネッセ田川氏による講演・進路ガイダンス、7月：進学ライブ、2学期：大学訪問(予定))

令和4年度 第3学年 年間方針

「揺るぎない粘りからの“進路実現”」

1. 第3学年団 男子71名 女子81名 計152名

学年主任 安部 泰生 学年副主任 蒔崎 研士

	1組(理K)	2組(理W)	3組(文ⅡK)	4組(文ⅠW)
担任	蒔崎 研士	中島 和哉	三溝 佐和子	山本 智之
副担任	野田 知那美	佐藤 篤子	田中 耕介	安藤 明子
	大宅 清信		岩崎 滋	
	橋本 容子			
男子	24	19	10	18
女子	8	23	28	22
計	32	42	38	40

2. 学年目標

1年次：「新しい時代を生き抜く“土台づくり”」

2年次：「新しい時代への明確な“動機づけ”」

3年次(今年度)：「揺るぎない粘りからの“進路実現”」

1年次に高校生としての「土台」を築き、2年次に将来に向けての「動機づけ」を行ってきました。そしていよいよ3年生は将来への「決断」を下すときが来ました。納得いく進路実現のためには「揺るぎない粘り」が必要です。正しい生活習慣・本質的な学力を定着させていきたいと考えています。早く合格を決めたい、という流れが大きくなりつつある中、最後の最後まで粘り強く受験を行った一つ上の先輩モデルを学年全体に広げ、唐津西高校のスタンダードにしていきたい。

3. 具体的目標

- ・総合型選抜、学校推薦型選抜(共通テストなし)、学校推薦型選抜(共通テストあり)、共通テスト、私立大学一般入試、国公立大学前期試験、公立大学中期試験、国公立大学後期試験をトータルに見据えた持続可能な指導体制の確立。
- ・公務員、就職、専門学校希望生徒への丁寧な指導体制の確立。
- ・志望理由書や小論文指導の体系的指導の確立。
- ・生徒一人ひとりの進路実現しつつ、国公立大学合格30名以上、私立大学100名以上の達成。
- ・目標は合格であるが、目的は「学び続ける姿勢を通しての人間的成長」であることを伝えつづけ、最後の最後まで粘り強く自分自身と戦っていく学年団でありたい。
- ・「揺るぎない粘り」を実践することによって素晴らしい挨拶ができる・基本的な生活習慣の確立・学習時間の確保・模擬試験の有効活用・資格取得への取り組み等の波及効果への広がり。
- ・“進路実現”から“自己実現”へ変遷する生徒の割合を増やす。

令和4年度 事務部 年間方針

○重点目標

- (1) 学校の教育目標に基づいた予算の効率的な執行を図る。
- (2) 施設・設備充実と生徒の安全の確保に努める。
- (3) 職員間の情報の共有に努め、事務の円滑化を図る。

○重点目標達成のための活動

1. ①各学年、校務分掌、教科と連携を図り、ヒアリングを十分に行い総合的な観点から予算執行に努める。
②経費削減（光熱水費の無駄を無くす、ごみ処理等の経費を減らす、裏紙利用などのリサイクルの徹底、公用車の利用促進など）を職員・生徒全体で取り組む。
2. ①毎月の安全点検をもとに危険個所の早期発見・処理を確実に行う。
②生徒に施設・設備のマナーや公共心について働きかけ、適正な管理を行う。
③工事施工の安全管理について業者へ徹底し、工事計画を職員会議等で公表し協力を依頼する。
3. ①保護者納付金の督促や就学支援金事務に関する担任との協力体制を作る。
②旅費事務（出張と特業の区別やシステム入力について等）や給与事務（各種手当）について、わかりやすい説明を心掛ける。

令和4年度佐賀県高等学校総合体育大会 試合結果一覧

開催日 5月27日(金)～29日(日)

部活動名	試合結果
サッカー部	2回戦対龍谷 0-2敗退
バスケットボール部男子	1回戦対白石 76-73 2回戦対清和 42-84敗退
バスケットボール部女子	1回戦対武雄 11-121 敗退
バレーボール部	1回戦対牛津高校 0-2敗退
ソフトテニス部男子	個人:草場・中村ペア ベスト6(九州大会・全国大会出場) 大場・久保 ベスト32進出 団体:1回戦対伊万里 1-3 敗退
ソフトテニス部女子	個人:草場・佐藤組、井上・松尾組、伊藤・中山組 ベスト32進出 団体:草場、佐藤、前川、小野、伊藤、中山、宮原、福浦 ベスト8進出
卓球部男子	個人ダブルス:野崎・高石組 ベスト8 個人シングルス:高石 ベスト16
卓球部女子	団体:井上、金子、東、吉田、岩本 ベスト8 個人シングルス:金子 ベスト32
剣道部	個人:秀典明 1回戦敗退、小林蒼太 1回戦敗退 団体:1回戦 唐津工業 1-4 敗退
弓道部男子	団体:予選敗退 個人:吉永優良 5位(九州大会出場)
弓道部女子	団体:予選敗退 個人:久保智寛 決勝進出
テニス部	個人シングルス:日高 2回戦敗退
バドミントン部男子	団体:早田・畠田・阿部翔・阿部聖・熊本・齋藤・福田 準決勝進出 第3位(ベスト4) 個人ダブルス:畠田・阿部聖 ベスト16 個人シングルス:早田 ベスト16
バドミントン部女子	団体:渡部・平藤・平尾・青木・吉田・野崎・中尾 2回戦進出 個人シングルス:渡部 3回戦進出(ベスト32)
ボート部	男子シングルスカル 第2位 坂本、第3位 小杉(九州大会出場) 男子舵手付きクォドルプル 第1位(九州・全国大会出場) 女子ダブルスカル 第1位 唐津西A(九州・全国大会出場)、第2位 唐津西B(九州大会出場)
ヨット部	学校対抗:男子3位 学校対抗:女子2位 女子420級:久保田・上野組3位(九州大会出場) 男子シングルハンダー一級:1位中川、2位宮崎、4位宮口(九州大会出場) 女子シングルハンダー一級:2位黒田(九州大会出場)
空手道	形競技:一回戦敗退 組手競技:一回戦敗退 西見海人
水泳	50m自由形:5位、100m自由形:7位 福島千織

【高等学校用】
令和4年度学校評価計画

学校名	佐賀県立唐津西高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「双松の力」(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力)の育成に向け全職員で組織的協働的に取り組んだ。 ・地域の人的・物的資源を活用し、保護者や地域の力を学校教育活動全体に積極的に生かしながら教育活動を推進した。 ・続くコロナ禍により教育活動が制限されたが、最大限の効果が得られるよう、内容の精選、ICTの活用など様々な工夫を行った。 ・学校教育目標「地域社会の未来を担う志のある人材の育成」に基づき、来るべきSociety5.0の社会を逞しく生き抜き、持続可能な社会の担い手として、ふるさと佐賀を誇り思い、国際社会や我が国、そして何よりも地域社会に貢献できる志のある人材の育成に向け、スクールポリシーを見直し、新たに整理・策定した。
2 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の未来を担う志のある人材の育成 -地域課題を自ら見出し、人とのつながりを大切にしながら、解決に向けて行動することができる力の育成を図る-
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に信頼され、選ばれる学校づくり(コミュニティ・スクールを活用した魅力と活力ある高校づくり) ・「自ら問いを立てる」力の育成と多様な進路先の実現 ・地元唐津をフィールドとした特別活動・生徒会活動・ボランティア活動等の充実

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の指導力の向上。 ○生徒の理解度の向上。 ○進学意識の向上 ○多様な進路選択の支援と大学進学実績の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒による授業評価の満足度80% ○ICTを活用し動画配信及びオンライン授業に取り組んでいる教員の割合90% ○大学進学希望者の割合70% ○国公立大学 合格者 30名 ○私立大学 合格者 100名 ○公務員 合格者 4名 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科年2回以上の授業見学会を実施する。 ・学期に1回以上の学習状況調査を実施する。 ・ICT研修(Classi、オンライン等)を実施する。 ・授業評価結果を踏まえた授業改善に取り組む。 ・学年、教科、分掌と連携し、時機に応じた情報提供、集団指導、個別指導、講演会等を企画し、実施する。 ・全教員による総合型入試・学校推薦型入試指導を行う。
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報モラルに関する意識及び知識を持っている生徒80% ○「いじめ防止及び対応等について」満足している生徒の割合95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル・人権に関する講演会やLHRを実施する。 ・振興会と協働し明るく気持ちのよい挨拶を推進する。 ・ハナコフェア(人命救助に尽くした先輩に関する取組)の充実を図る。 ・多面的に生徒の状況を把握・理解し、組織として支援する。 ・欠席が10日を超えた生徒にはケース会議を行う。 ・情報共有シートの有効的な活用を図る。
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◎夢や進路希望の実現に向けて努力する教育活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「唐津検定」合格者70% ◎ルーブリック評価における「地域力」の生徒の自己評価の平均値3.0 ◎キャリアパスポートの活用率100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・唐津検定受験を奨励する。 ・ふるさと佐賀を誇りに思う教育講演会を開催する。 ・総合的な探究の時間、特別活動を中核とした教育課程を編成する。 ・ルーブリック評価及びキャリアパスポートを定期的・活用し、的確な振り返りを行わせる。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●「望ましい生活習慣の形成」(感染症の予防と対応) ○各科健康診断後の受診率向上 ○部活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症予防対策実施率100%(マスクの着用、うがい・手洗い・手指消毒) ○歯科の再受診率30%、その他は60% ○部活動をとおして主体性が身についたと思う生徒の割合70% 	<ul style="list-style-type: none"> ・集会等での呼びかけや教室・廊下のポスター掲示・保促などにより意識の向上を図る。 ・学期毎1回以上の生活習慣アンケートを実施する。 ・学校医との連携を密にして受診勧告及び啓蒙を行う。 ・全体で部活動の取組を共有するとともにリーダー研修会を開催する。 ・生徒主体の練習計画や振り返りを実施する。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
OSAGAコラボレーション・スクールを活用した魅力と活力ある学校づくり	★地域社会に貢献し、地域に信頼され、選ばれる学校づくり	★学校魅力強化委員会を年3回実施 ★地域関係者によるキャリア教育講演を年3回実施	・部活動(ボランティア・写真・家庭研究)単位での活動を中核として総合的な探究の時間を展開する。 ・地域をフィールドとした活動・イベントを設定する。 ・地域の人材を活用したキャリア教育を行う。
○特別活動・生徒会活動・ボランティア活動	○図書館の利用と読書活動の推進 ○生徒会活動・ボランティア活動の充実 ★ボランティアを核とした学校づくり	○図書貸し出し総数 年間2,000冊 ○自主性が重んじられていると感じる生徒の割合90% ★ボランティアに対する意識を持つ生徒の割合50%	・朝読書の効用を適宜発信する。 ・図書館資料を積極的に更新するとともに図書館便り・新着図書案内等を毎月発行する。 ・各種学校行事等の司会進行、双松祭の企画運営を生徒主体で行う。 ・ボランティア部を中心とし学校全体でボランティアに取り組む体制と制度を構築する。
○地域に信頼される学校づくり	○開かれた学校づくり	○学校HPへの更新100回 ○学校行事へのアクセス数240件 ○学校開放日における保護者の授業参観者数50名 ○重点目標を知っている保護者の割合60%	・HP、メール配信、SNSの活用による学校の情報発信を行う。 ・中学校訪問及び中学生の学校見学会の充実。 ・学校開放日の取組内容の工夫を図るとともに開催についての周知を徹底する。 ・地域の活動に積極的に参加する。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--

新規

SAGA唯一無二の学校魅力化実践事業

The one & only SAGA High School Product

教育振興課

目的

唯一無二の誇り高き学校として県立高校の魅力高め、県内外からの志願者を増加させるとともに、地域社会に貢献できる有為な人材の輩出を目指す。

目標：県外流出の歯止めと県内外からの県立高校志願者の増

事業内容

SAGAコラボレーション・スクール（SCS）指定校9校 *重点校4校
（*有工・牛津・太良・白石・唐津青翔・高志館・神埼・鹿島・唐津西）

- 有田工業**（有田の伝統産業や大学と協働したデザイン、セラミック等の専門的・実践的な人材育成と全国募集の促進）
- 牛津**（地域企業や大学と協働した食やファッション等の専門的・実践的な人材育成と県外募集の促進）
- 太良**（共生社会を目指した多様な学びの充実と県境の立地を活かした県外募集の促進）
- 白石**（モデル校としての地域協働の更なる展開とキャンパス制の特徴を活かした小中高連携の展開）

※学校魅力化アドバイザーによるファシリテーションとPDCAサイクルの構築（全指定校）

- ※学校魅力化コーディネーターを配置し、地域と協働した実践的教育を確立（重点校）
- 4地域、企業、大学等とコラボレートした学校運営組織による学校の魅力化
- 先進団体をアドバイザーとする佐賀県独自の魅力化

【コーディネーターの募集・育成方法】

- 知見のある団体（地域・魅力化プラットフォーム）による全国募集
- 各学校のニーズとのマッチング
- 知見のある団体（地域・魅力化プラットフォーム）による育成研修
- 学校への受け入れ研修

SAGAスマート・ラーニング（SSL）指定校 8校
（唐津商・伊万里実業・嬉野・鳥商・伊万里・武雄・佐賀西・三養基）

- 地域、企業、大学等と連携した新しい時代の教育内容実践による学校の魅力化

※事業に取り組む全ての学校に学校魅力強化委員会を設置し熟議

・メンバー：学校長、教職員、事務職員、生徒、保護者、地域住民、企業、NPO、卒業生、大学生、大学、自治体など

一回/教員 SCS重点校 6回程度/年 其他のSCS指定校 3回程度/年 SSL指定校 3回程度

新規

SAGA 唯一無二の学校魅力化実践事業

The one & only SAGA High School Product

教育振興課

SAGAコラボレーション・スクール（SCS）指定9校（うち重点校4校）

地域社会とコラボレートした学校運営を研究、実践

- ・ 地域社会が教育目標や運営方針を承認
- ・ 地域社会と協働し教育プログラムを企画・運営
- ・ 学校の活動に地域住民やNPO、企業、大学が参加
- ・ 社会に開かれた教育課程の研究と実践

○学校魅力化アドバイザーによる学校魅力化の伴走（9校）

- ・ 先進校の実践データを踏まえた各校の伴走
- ・ 学校魅力化へのPDCAサイクル構築支援
- ・ 学校魅力化コーディネーターの採用と研修
- ・ 職員研修、専門パートナー派遣
- ・ 報告書（場面集）の作成

学校魅力化アドバイザー

- ・ CN採用支援と育成
- ・ 学校魅力化の評価

学校魅力化コーディネーター（●重点校に配置）

- ・ 企画・運営・情報提供
- ・ ファシリテーション

●有工 ●牛津 ●太良 ●白石

○唐津青翔 ○高志館 ○神埼 ○鹿島 ○唐津西

○学校魅力化コーディネーター配置（重点校4校 計4名）

- ・ 社会とかがかわる教育課程の企画・運営・支援
- ・ 地域側との連絡調整・情報提供
- ・ 地域資源（人・もの・こと・資金等）の獲得と活用
- ・ 学校魅力強化委員会（SCSチーム）の組織体制の構築・運営
- ・ SCSチームの日程調整と活動支援
- ・ 生徒の教科外の教育活動に関する支援

新しい視点

- ・ 学校に何を求める
- ・ 生徒の学び
- ・ 地域の思い

○各学校に学校魅力強化委員会を設置

- ・ 活動テーマをブラッシュアップ
- ・ 具体的な協働活動により教育プログラムを企画・運営

新しい視点 学校への価値を創造 社会に開かれた教育課程の研究と実践

- 学校を中心とした地域振興
- 主体的な学びによる魅力ある教育プログラム



- 活動テーマをブラッシュアップ
- 協働活動による教育プログラムの企画・運営

SAGAコラボレーション・スクール（SCS）指定校

- ・学校が積極的に地域社会と協働した学校運営をとおして、魅力化に取り組む意志を示している学校
- ・地域、企業、大学等とコラボレートした学校運営組織による学校の魅力化
- ・学校魅力化アドバイザー（委嘱）により実践データをふまえた各校の伴走

【重点校】

・現段階において特色があり、コーディネーターを配置することによってさらに魅力を高めることが可能と見込まれる4校に重点校としてコーディネーターを配置し、その効果を検証する。

学校名	テーマ（仮）	学校や地域の特色	取組の概要
●有田工業	地元企業や町と連携した地域デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・セラミック科とデザイン科を有している ・有田町との連携協定を結び生徒を全国募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・陶器市への参画 ・地元企業からの依頼によるプロダクトデザイン ・県内外での有田町のPRなど地域振興への貢献 ・地域デザイン教育を学校の教育活動の中心に位置づける
●牛津	地域に開かれた、愛される学校づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の単独専門校 ・家庭科の各種全国大会等では上位入賞 ・様々な地域貢献活動（牛尾山オリーブまつり、小城市牛津産業まつり、学童保育でのボランティア、児童クラブでの食育活動、企業（竹下製菓など）と連携した商品開発、商店街との連携活動） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動を教育課程に位置付ける ・常設店舗祖設置による商品や食事の提供 ・地域と協働しながら、県外生徒募集の拡充を検討
●太良	伝統文化と地域コミュニティプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域に指定されている ・地域の文化継承に関する高い意識 ・発達障害や不登校の生徒の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・神楽部を地域コミュニティと連携 ・地域振興に貢献する教育活動の展開 ・隣接県等からの生徒受け入れを検討
●白石	地域社会を支える人材育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながる高校魅力づくりPモデル校 ・2つの校舎と3つの市町（地域）を有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動による地域課題解決学習 ・各市町と連携した地域貢献活動 ・小中学校と連携した教育活動の実践

【他の指定校】

- ・地域、企業、大学等と連携した活動に取り組みながら、地域社会を巻き込んだ学校運営に取り組む
- ・学校魅力化アドバイザー（委嘱）により先進事例や組織構築の情報提供

学校名	テーマ（仮）	学校や地域の特色	取組の概要
唐津青羽	地域を担う人材育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・北端に位置する総合学科高校 ・地域の人口減少により希望者が減少 ・地域にとって欠かせない学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・名護屋城博物館との連携事業や国際交流事業 ・フィールドワークや小学校との連携 ・福祉施設との連携による教育活動
高志館	地域や大学と連携した商品開発プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・東部地区唯一の農業専門高校 ・地域や企業と連携し、商品開発 ・スマート農業の普及による地域貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学農学部との連携による商品開発 ・地域の特産物を用いた商品開発 ・実践的スマート農業の授業
神埼	グローバルハイスクールプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学力向上を担う学校 ・県立の総合学科高校と隣接、連携を模索 ・同市内には、県内唯一の私立大学 ・地域には留学生も多く生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決とSDGsを目標とした活動を展開 ・地域と世界の両方の視点を持った人材の育成を目指す
鹿島	鹿島市の子供は鹿島で育てるプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島地区の教育活動を担う伝統校 ・隣接する2校が合併し域人材育成を担っている 	<p>地域の資源や人材を学校の教育活動に取り込み、地域課題の探究活動や小中学校との交流、地域イベントへの参加を教育活動に位置付けることで鹿島市の発展に貢献し、地域の人材育成を目指す。</p>
唐津西	地域社会の担い手育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・唐津の中堅の普通科高校 ・地域で活躍する人材の育成を担う学校 ・様々な地域貢献活動（虹の松原保全勝小津、唐津応援市場、馬渡島ゲンコウ復活プロジェクトなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への貢献とキャリア教育を融合 ・新しい時代の普通科教育を探究 ・地域の担い手育成となる教育内容を探究

事業実施計画書

学校名 佐賀県立唐津西高等学校

【SAGA コラボレーション・スクール (SCS)】

1 取組テーマ

「地域社会の担い手育成プロジェクト」

2 現在の学校としての課題及び事業目標

<学校としての課題>

本校は、創立以来 115 年の歴史をもち、多くの卒業生が地域社会の担い手として活躍する学校である。しかし、唐津地区において進行する少子化、県外または地区外への生徒流出によって、本校への志願状況は減少傾向にある。

こうした状況の中で、唐津地区の普通科高校としての魅力を明確に打ち出し、地域の子供たちに地域社会の有為な担い手として輩出する責任を有している。本校がそうした使命や責任を果たし続けていくためには、3 年間を見通した「総合的探究の時間」を体系化し、「社会に開かれた教育課程」を実現することで、地域社会との連携・協働をさらに推進する必要がある。このことが、地域活性化の核の一つとして、地域住民からの信頼を得ることになると考える。

<目標>

- (1) 地域社会と課題を共有し、連携・協働による魅力づくりを図っていく。
- (2) SDGs に関する地域課題に対して、自ら問いを持ち、他者とのつながりを通して解決に向けた探究活動を基盤としたカリキュラムを開発する。

3 令和 4 年度の実施計画

資料 1 のとおり

4 所要経費 (計画)

様式 1 のとおり

5 校内担当者

主任等	職名	氏名	校務分掌	メールアドレス
	教頭	藤田 和康		fujita-kazuyasu@education.saga.jp
○	教諭	山口 崇	教務	yamaguchi-takashi@education.saga.jp
	事務主任	海津 美幸	事務	kaizu-miyuki@education.saga.jp

資料1 令和4年度 SAGAコラボレーション・スクール (SCS) 実施計画

4月	キャリア教育講演会 (1・2年)
	子ども食堂 (ボランティア部)
	波戸岬ビーチクリーン (ボランティア部)
5月	地域活性化プロジェクト講演会 (2年)
	3年「地歴総合」唐津市危機管理防災課との授業連携
	Karatsu Seaside Camp2022 (ボランティア部)
6月	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
	進路講演会 (3年)
	キャリア教育講演会 (2年)
	ハナコフェア (全学年)、進路ガイダンス (2・3年)
	主権者教育 (全学年)
第1回学校運営協議会	
7月	3年「地歴総合」唐津市危機管理防災課との授業連携
	キャリア教育講演会 (1年)
	唐津応援市場ボランティア (ボランティア部)
	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
8月	全国コミュニティ・スクール研究大会 (学校運営協議会委員1名参加)
	ゲンコウプロジェクト 馬渡島において草刈り作業 (写真部)
	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
9月	第2回学校運営協議会
	先進校視察
	キャリア教育講演会 (1年)
	地域活性化プロジェクト発表会 (2年)
	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
10月	キャリア教育講演会 (1年)
	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
	防災・避難訓練 (全学年)
	芸術鑑賞 (ゴスペル) (全学年)
11月	キャリア教育講演会 (1年)
	からつ商工会議所主催「からつ検定」受験 (1・2年生全員)
	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
12月	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
	吹奏楽部加唐島訪問演奏 (吹奏楽部)
1月	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
2月	第3回学校運営協議会
	学校運営協議会成果校内発表会、講演会
	キャリア教育講演会 (1・2年)
	田川さん講演会 (2年)
	キャリア教育講演会 (1年)
	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
3月	NPO法人KANNE主催の「虹の松原クリーン大作戦」に参加 (希望生徒)
	卒業生と語る会 (1・2年)
その他 不定期	フードバンクボランティア (ボランティア部)
	唐津応援市場ボランティア (ボランティア部)
	小学生へのボランティア活動 (ボランティア部)
	唐津ロータリークラブ定例会参加 (ボランティア部)
	FMからつへの出演【フードバンクや子ども食堂の取り組みを説明する】 (ボランティア部)

地域社会に貢献する 人材育成

(建学の精神)

朝に希望、夕べに感謝

現在 精査中

未来ギフト

フードバンク

KANNE

商工会議所

唐津市役所

総合的な探求

1年 知る

地元企業

ICT活用

社会福祉協議会

2年 触れる 体験する

キャリア教育

3年 考える まとめる

振興会

同窓会

教科

LHR

部活動

ボランティア

計画力
改善力

解決力
発信力

基礎力
着眼力

人とのつながりを大切にしながら、
解決に向けて意欲的に行動することができる人。

グラデュエーションポリシー

地域の課題を発見し

アドミッションポリシー

- ◆ふるさと唐津・佐賀を誇りに思い、地域社会に貢献しようとする生徒
- ◆文武に励むとともに生徒会活動やボランティア活動にも積極的取り組みに努める生徒の伸長に努めようとする生徒
- ◆社会のモラルやマナーをよく理解し尊重し人間的なつながりを大切にしようとする生徒

SAGAコラボレーション・スクール

説明

承認

説明

意見

学校運営
協議会

学校運営の
基本方針

教育活動

1年目

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容	学校魅力強化委員会に向けた準備	学校運営協議会① ・委員会の目的、役割の確認 ・課題の確認・共有 ・2022年度事業計画				学校運営協議会② ・進捗状況の共有 ・今後の取組の検討 等					学校運営協議会③ ・2022年度事業実践の検証 ・2023年度事業計画案 等	
	Plan (計画)						Do (実行)					
						Check (検証・評価)					Check (検証・評価)	Action (改善)

2年目

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容	学校魅力強化委員会に向けた準備	学校運営協議会① ・2022年度事業報告 ・課題の確認・共有 ・2023年度事業計画				学校運営協議会② ・進捗状況の共有 ・今後の取組の検討 ・中間報告のとりまとめ 等			中間報告会 (予定)		学校運営協議会③ ・2023年度事業実践の検証 ・2024年度事業計画案 等	
	Plan (計画)						Do (実行)					
						Check (検証・評価)					Check (検証・評価)	Action (改善)

3年目

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容	学校魅力強化委員会に向けた準備	学校運営協議会① ・2023年度事業報告 ・課題の確認・共有 ・2024年度事業計画				学校運営協議会② ・進捗状況の共有 ・今後の取組の検討 ・実践報告のとりまとめ			実践報告会 (予定)		学校運営協議会③ ・本事業取組の検証 実践報告書提出	
	Plan (計画)						Do (実行)					
						Check (検証・評価)					Check (検証・評価)	Action (改善)



校章は2本の松（双松）

令和4年6月20日（月）
第1回学校運営協議会

Go West!

佐賀県立唐津西高等学校 スクールポリシー

〔建学の精神〕

- ◆朝に希望 夕べに感謝
- ◆師弟同行



佐賀県立唐津西高等学校の歴史

2

佐賀県教育界のパイオニア的な役割

Go West!

- ◆唐津女学校 1907年（明治40年）
 - ・女子高等普通教育機関の必要性
- ◆佐賀県立唐津高等女学校 1920年（大正9年）
 - ・北部地区女子教育の拠点
- ◆佐賀県立唐津高等学校 1949年（昭和24年）
 - ・男女共学
- ◆佐賀県立唐津西高等学校 1956年（昭和31年）
 - ・東高と分離独立 全日制普通科
 - ・分校、家政科、定時制の設置
 - ・普通科英語コース設置、高校入試で前期入試の実施、SELHi 研究校指定



時代や地域のニーズに応えた革新を貴ぶ校風

2

Go West!

○明るく伸びやかな校風

- ◆一人ひとりの個性に裏打ちされた希望・志を大事に
 - ・ 一人一人のニーズに寄り添った懇切丁寧な指導・支援
 - ・ 一人一人の主体性・自主性を重んじた教育活動
 - ・ 一人一人のやりたいことを引き出し、活動の場を提供
- ◆師弟同行・人とのつながりに感謝
 - ・ 仲間を大事にする
 - ・ 先生も一緒に取り組む
 - ・ 地域の人とかかわる



人とつながり、“やりたい”を探し、“やりたい”を腹いっぱいやる

3

○多様な進路の実現

- ◆大学進学・公務員・就職・専門学校へ
 - ・ 佐賀大学を中心に九州・中国地方の国公立
 - ・ 福大・西南・西九大を中心とした私立大
 - ・ 県・市職を中心とした公務員
- ◆高校時代の経験を生かした進路達成
 - ・ 探究活動・部活動・生徒会活動・ボランティア活動などの実績を生かし、総合型・学校推薦型入試で合格
- ◆座学の大事さ・活動の楽しさを実感
 - ・ 「作業」ではなく「思考」を大切にした学び
 - ・ 本物に触れる学び

*Go West!*

自分の進路実現に向け、座学とフィールドワークをとおして深く考え、広く発信

○ボランティア・起業家教育・ICT・探究活動st!

◆ボランティアに培う起業家精神

・「奉仕的・作業的」ボランティア活動から「戦略的・起業家的」ボランティア活動へ

◆関連と系統による3年間の「総合的な探究の時間」・LHRの展開

- ・地元（唐津など）への愛着に根差し、地域
- ・自分だけの問いを見つけ、深堀する
- ・キャリアコンサルタントによる専門的指導



◆PCを使いこなす

- ・本校独自の“体系表”に基づき、PCを日常文房具として活用しながら、情報活用能力をつける

体験や活動をとおして学問の面白さや社会とつながった自分を実感

Go West!



唐津西高等学校

佐賀県立「朝（あした）に希望、夕べに感謝」（健学の精神）

スクールポリシー

地域社会の未来を担う志のある人材を育てます。

このよう な 卒業生 を 育て ます。

地域の課題を命見し

人とのつながりがりを大切にしながら、解決に向けて意識的に行動することができる人。

このよう な 「双松の力」 を 育て ます。

※「双松」とは唐津西高等学校の校章に記されている双松のシンボルです。

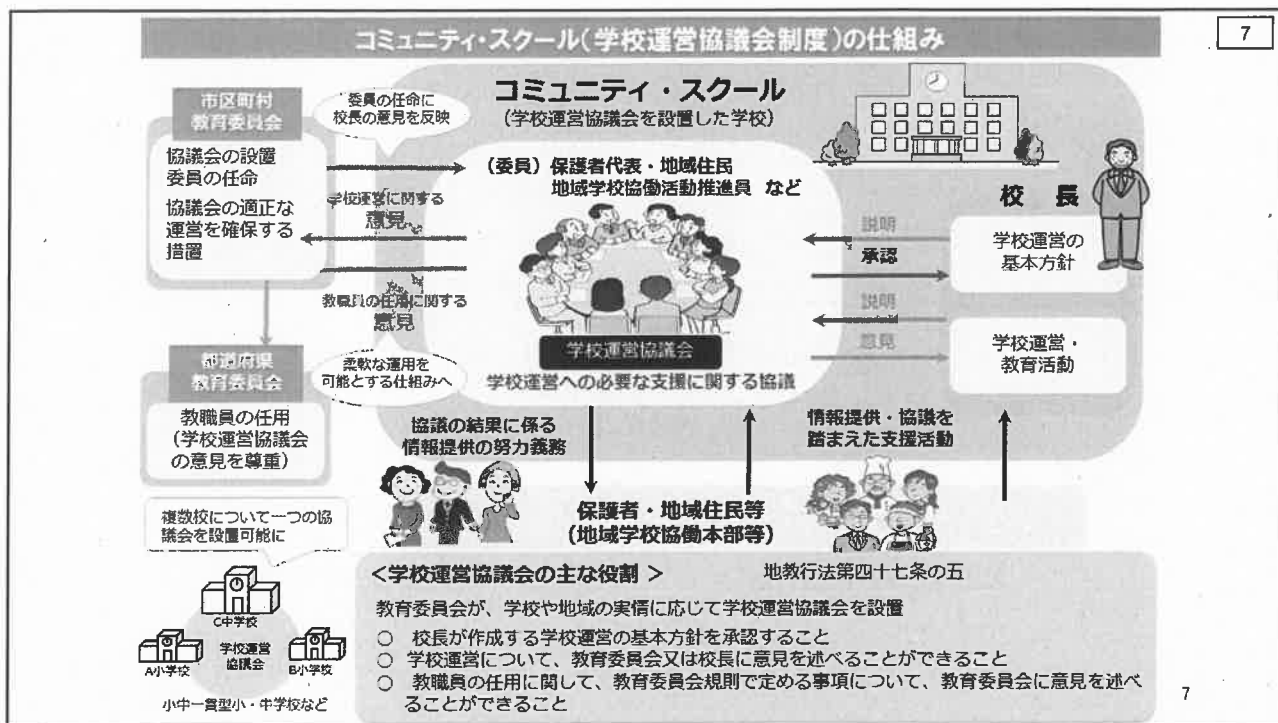


知識・技能 思考・判断・表現力 学びに向かう力

このよう な 生徒 を 求め ます。

- ◆ふるさと情注・佐賀を誇りに思い、地球社会に貢献しようとする生徒
- ◆文武に動むとともに生徒会活動やボランティア活動にも積極的に取り組み個性や能力の伸長に努めようとする生徒
- ◆社会のモラルやマナーをよく理解し尊重し、人間的なつながりを大切にしようとする生徒

令和4年度の重点目標	
地域社会に信頼され、選ばれる学校づくり	「自ら問う」力の育成と多様な進路先の実現
総合的な探究の時間・特別活動・ボランティア活動の充実	




SAGAコラボレーションスクールの中核となる学校運営協議会

学校運営協議会への期待

○地域とともに歩むコミュニティスクールの実現

- ・本校の課題意識を共有・学校運営への参画意識
- ・熟議による課題解決に向けたアイデアの創出、解決策の立案
- ・その他、本校教育活動への支援



課題① 中学生に選ばれる学校としての魅力が十分ではないのではないか

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特別選抜	1.83	2.56	1.21
一般選抜	1.04	1.11	0.91

課題② 地域社会を担う志のある人材の育成をどのような成果指標で測るのか
佐賀大学、西九州大学への進学者増 公務員試験合格者増

課題③ 地域と連携した活動が部活動レベルで実施されており、そもそも地域連携の教育活動の理念が職員間で共有されていないのではないか
ボランティア部の活動成果を総合的な探究の時間に反映

熟議

↓

そもそも、普通科としての魅力をどう作り上げていくべきか **Go West!**